

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(直富商事株式会社)

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・コンプライアンスマニュアルで「人権の尊重」を定め不当な差別を行わないことを明記している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・コンプライアンスマニュアル及び就業規則で「ハラスメントの禁止」を明記している ・「ハラスメントの禁止」について掲示し、注意喚起している ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証の更新 ・外部相談窓口を設置している ・ハラスメント防止研修の実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・勤怠システムを導入し従業員の労働時間を日次管理している ・労働生産性の改善を経営課題としている ・有給休暇取得促進に向けての取り組み								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている ・募集求人外国人応募可能である旨の明記				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・年1回、安全大会を実施 ・月次の安全衛生委員会を事故防止、労働環境改善を審議している ・独自で定めた自動車安全運転鉄則8カ条を朝礼で唱和している					3			8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・心の健康づくり計画を策定している ・外部相談窓口を設置している ・法定のストレスチェック、産業医による長時間労働面接指導を実施					3												
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・トップが女性活用を宣言している ・障がい者、高齢者を雇用している ・イクボス温かボス宣言をしている ・「社員の子育て応援宣言」を登録している					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・階層別研修を実施している ・管理者研修を実施している ・外部機関を活用した研修を実施している				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・雇用形態にかかわらず同一の福利厚生を提供している ・仕事内容や責任の程度のに基づき、公正な賃金決定をしている ・非正規労働者の処遇条件の適正化の実施					5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・全国健康保険協会 長野支部の「健康づくりチャレンジ宣言」登録 ・日本健康会議健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)の認定。2024認定に向けて申請予定					3			8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物処理業務が事業であることから自社廃棄物についてマニフェストによる適正処理確認と委託先の現地確認を継続して実施									11.6	12		14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・電気使用量、石油資源使用量の維持管理をしている ・二酸化炭素排出量を記録している								7.3				13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・事業計画で定めたCO2削減目標に則り、太陽光パネルの発電によるCO <sub>2</sub> 排出量、石油資源使用量の削減に取り組んでいる ・一部業務車両にハイブリッド車を導入 ・2024年2月EVトラックを導入予定								7.2 7.3			12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・自社の業務に関わる有害化学物質を特定し、物質毎の使用量を使用簿に記録して管理を行っている ・漏洩、曝露等のリスク回避のため安全に配慮した施設内で使用している ・当該物質のリスクアセスメントを実施し、必要な保護具を定め、曝露の濃度を管理している					3.9			6.3			11.6	12.4					

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・大気・水質・臭気・騒音・振動等環境測定を実施し、基準値内であることを確認 ・地下貯水槽と油水分離槽による油漏洩防止対策(雨水対応)を実行 ・信州プラスチックススマート運動協力事業者に登録						6.6											15	
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・長野県と3R協定を結んでいる ・第3工場にて高精度の選別を行いリサイクル率の向上に取り組む										13		14.1						
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・銅の比重差選別(ハイドロサイクロン)で使用する井戸水を循環して使用することで使用量削減を図っている ・機械の入替に伴い、スチロール溶融機用の冷却水の使用量を削減						6.4 6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・ISO14001を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・環境方針定め、自社ホームページ及びCSR報告書で公開している													12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			【予定】 ・BDF燃料の利用 ・焼却炉の熱利用							7.2							13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・Web会議の利用により移動に関わるエネルギー削減に努めている ・客先から回収した資源を再資源化することで天然資源の持続的利用に貢献している													12.2	13	14	15		
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・コンプライアンス研修を年2回実施 ・コンプライアンスマニュアルで「不正行為の撲滅」を定めている ・コンプライアンスマニュアルは社員携帯手帳に掲載している																		16 16.5
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・コンプライアンス研修を年2回実施 ・コンプライアンスマニュアルで「適正取引の維持」を定め、社員携帯手帳に掲載																		16
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・リサイクル資料館「なごみ資源の森」の商標及び特許を取得し、管理している ・企業ロゴ3種類の商標を取得し、管理している									8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・個人情報取扱規程を制定している																		16
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・仕入製品が紛争鉱物不使用(コンフリクト・フリー)である事をホームページなどで確認している(EPSON、RICOH、DELL、KDDI、Apple他)																		16
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・食品関連事業者より排出される年間約1,000tの食品廃棄物を飼料にリサイクルする食品リサイクルを推進 ・排出者と認識を共有し、使用済プラスチックの回収・再資源化を行っている(信州プラスチックススマート運動協力事業者に登録)					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			パートナーシップ構築宣言を作成・公表している。				3						8	9	10						17



上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
国際貢献(中国:直富希望小学校)	2004年、中国石家荘市に“直富希望小学校”を建造寄付。その後も継続的に支援を続け、毎年生徒を日本へ招待し、こちらも小学校を訪問している。	1			4													
国際貢献(カンボジア:井戸寄付)	“カンボジアに井戸を22万基掘る会”に協賛し、2022年12月現在7基目を寄贈。8基目の寄贈に向けて進めている。		2				6											
世界の子どもにワクチンを！	ワクチンの支援活動を行う認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)に協力し、回収したペットボトルキャップの売却益の一部を寄付している。			3														
スポーツ支援	当社所属のスピードスケート 山田梨央選手および当社社員が所属する長野市社会人野球チーム「信越硬式野球クラブ」を応援している。								8									

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクスレネス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載  
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定